

## JAAM 認定アセットマネージャー (JCAM) 資格の構築と支援

(一社) 日本アセットマネジメント協会	正会員	○戸谷 有一
(一社) 日本アセットマネジメント協会	正会員	竹末 直樹
(大) 東北大学	正会員	水谷大二郎
(株) オリエンタルコンサルタンツ	正会員	猪爪 一良

### 1. はじめに

一般社団法人 日本アセットマネジメント協会 (以下, JAAM と記す) は, 2017 年 8 月の JIS Q 55000 シリーズ (ISO 55000 シリーズ) の制定を契機として設立された. JAAM はアセットマネジメントの国際規格である ISO 55000 シリーズを理解しようとする個人や法人, ISO 55000 シリーズの考え方を導入することによりアセットマネジメントを高度化しようとする公共団体, 民間企業を支援するため, 多様な活動を展開している.

活動の一環として, アセットマネジメントの国際組織である WPiAM (World Partners in Asset Management) と連携し, アセットマネジメントに携わる人材の国際的な資格制度である「認定アセットマネージャー国際検定試験 (CAMA)」を 5 回実施し, 国内で 300 名近くが既に CAMA 資格を獲得し, 国内外で活躍している.

一方, 我が国においては, 高度経済成長期に整備された社会インフラアセットの老朽化が進むだけでなく, 社会構造の変化や技術革新等を踏まえ, 時代のニーズに即してアセットからの価値を引き出していくための積極的なアセットマネジメントの展開が必要となってきた. こうしたことから, 国内のアセットマネジメントを巡る課題を理解し, アセットからの価値を実現化していくために中心的な立場で活躍できる「JAAM 認定アセットマネージャー (JAAM Certified Asset Manager, JCAM) 資格」を 2021 年度に構築し, 第 1 回の資格試験を 2021 年 9 月から 11 月にかけて (択一・論文試験は 9 月, その後順次面接試験) 実施した. 本稿は, この JCAM 資格制度の構築と, 受験者に対する支援の取り組みについて報告するものである.

### 2. 受験資格, 試験内容の設定

上述のように, JCAM はアセットマネジメント実務において中心的な立場で活躍できる人材を認定するものである. このため, アセットマネジメントに関する一定の実務経験を有することを受験資格として設けた. 実務経験は, 技術士二次試験等も参考に, 最終学歴に応じて, 大学院修了者: 5 年以上, 大学卒業生: 7 年以上, 短期大学・高等専門学校卒業生: 9 年以上, 高等学校卒業生: 11 年以上, 中学校卒業生: 14 年以上と設定した.

また, 試験内容に関しても実務的な知識・経験を問うこととして, 択一試験と論文試験, 更に面接試験を実施することとした. 択一試験では, ISO 規格に関する共通基盤の他, アセットマネジメントに必要な財務・非財務に関する知識・情報, リスク分析等に重要な確率・統計に関する実務的視点, 更に国内におけるアセットマネジメント実務を巡る背景や現状に関する国内的視点を問うている. このように, 国内のアセットマネジメントや維持管理の背景・現状に加え, アセットマネジメントに必要な普遍的かつ広範囲な知識・経験を問うている点が JCAM の特徴の 1 つである. 論文試験は, 自らが経験した特徴的なアセットマネジメント業務について記述を求めるとともに, ISO 55001 における箇条の要求事項と照らして, 記述した業務においてアセットマネジメントの取り組みのなかで「対応できたこと」, 「今後取り組んでいく上での課題」等について問うている. 最後の面接試験では, 択一・論文試験の結果も参考にしながら, アセットマネージャーとしての将来展望やコミュニケーション能力を問うものとしている. これら試験内容を表-1 に示すので併せて参照されたい.

なお, 2021 年度第 1 回試験に先立ちプレ試験を実施し, 試験問題の構成や時間配分等の妥当性を確認し, 本試験を実施した.

キーワード アセットマネジメント, ISO 55000 シリーズ, 人材育成, 資格制度, 講習会

連絡先 〒107-6218 東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号 東京ミッドタウン・タワー18F TEL 03-6625-5394

### 3. 講習会を通じた受験者への支援

2021年度の第1回 JCAM 試験は7月より募集を開始した。本試験は受験者を支援するために都合3回の事前対策講習会(10:00～11:45, 13:00～17:30の終日)をオンラインで開催するとともに、試験直前まで「ISO 55001読み解きセミナー(2h)」等を実施して受験者を支援した。事前対策講習会の受講は JCAM 試験受験の必須要項とはしなかったものの、今回は結果的に全ての受験者が講習会を受講した。事前対策講習会では、受験対策に配慮するとともに、ISO 55000 シリーズに準じたアセットマネジメントの理解促進に向けて誰もが受講できるようにするとともに、平日と休日に開催することによって、様々な働き方の受講者に配慮して開催した。

### 4. 第1回 JCAM 試験の実施について

第1回試験は、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン会議システムを活用し、受験者はカメラオンで常時接続し、複数の試験監督官がオンライン上で監督した。試験問題は開封パスワードを設定したファイルを事前送付し、試験開始時にパスワードを開示し、解答する方法とした。面接試験は一次試験(択一、論文)の合格者に対し、オンラインにて一人当たり30分の面接を実施した。

受験者数と合格者数を表-2に示す。合格者は62名、合格率は73%という結果となった。第1回試験であり、CAMA資格保持者を含めアセットマネジメントに関心の高い者が受験したことが、高い合格率に至った理由であると考えられる。

また、受験者のうち69名が建設コンサルタントに従事する者であり、アセットマネジメントのサービスプロバイダーとして関心の高さがうかがえた。

2022年3月現在、67名の合格者に対して JCAM 資格登録を受け付けており、登録によって、JAAMは4年間の JCAM 資格認定証を発行し、継続的教育の成果を確認し、更新することとしている。

表-1 第1回 JCAM 試験内容

	時間	主な試験内容
択一試験 (4択)	2.0h	ISO55000(15問)
		財務・非財務、確率・統計(15問)
		アセットマネジメント実務(15問)
論文試験	2.0h	アセットマネジメントの経験業務(1,000字程度)
		ISO箇条の取り組み状況、今後の展望(1,500字程度)
面接試験	0.5h	択一・論文試験合格者に対して

表-2 第1回 JCAM 試験受験者等

受験者数	85名	
一次試験(択一、論文)合格者数	67名	(79%)
二次試験(面接)合格者数	62名	(73%)
(参考)事前対策講習会受講者数	104名	

### 5. 今後に向けて

本試験の実施にあたって、JAAMでは2020年度より JCAM 試験の実施に向けて組織体制を整備し、鋭意試験制度を構築してきた。現在、第1回 JCAM 資格の実施状況を踏まえ、2022年9月に第2回 JCAM 試験を実施すべく準備を進めている。

また、CAMA資格と JCAM 資格の両方の資格を取得している者に対し、CAMA資格の上級資格である WPiAM 認定の CPAM (Certified Practitioner in Asset Management) 資格の付与に向け、WPiAMと協議を行っている。更に、アセットマネジメントに取り組み始めた経験の少ない者に対しても、ISO 55000 シリーズやアセットマネジメント実務に関する知識習得は大切であることから、JAAMでは「技術士補」に準じるような、アセットマネジメントの経験が少ない者を対象とした新たな資格制度も構築し、試験を実施する予定である。

今回の受験者は、大学等の教育機関でアセットマネジメントを学習した経験に乏しく、実践を通じてアセットマネジメントの知識・経験を培ってきたと推察される。このような実務者の知識・経験を正當に評価し、受験者や合格者同士の交流の機会を醸成するとともに、アセットマネジメントの力量向上のために JCAM が活用されることによって、アセットからの価値の実現化が達成されると考える。そのためには、継続的に試験資格制度を充実させてゆくことが重要と考えている。また、技術者の資格制度の多くが専門分野別となっているが、少子高齢化、レジリエンス、コンパクトシティに対するエリアマネジメント等の重要性が高まっている。こうしたことから、JAAMでは専門技術分野の能力を保持しつつ、分野横断的なライフサイクルを視野に置いたアセットマネジメントの資質を求める JCAM、CAMA等の資格制度の役割を高めていきたい。